



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 株式会社東計電算
コード番号 4746 URL <http://www.toukei.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 甲田 博康

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 甲田 英毅

TEL 044-430-1311

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	6,583	3.0	1,190	4.5	1,289	3.7	885	10.6
28年12月期第2四半期	6,389	1.8	1,138	11.2	1,243	12.4	800	12.5

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 889百万円 (%) 28年12月期第2四半期 47百万円 (96.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	96.49	96.16
28年12月期第2四半期	87.65	87.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	22,859	19,643	85.8	2,138.08
28年12月期	22,819	19,376	84.8	2,111.19

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 19,622百万円 28年12月期 19,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		70.00	70.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成29年5月8日に発表しました配当予想は、本資料において修正しております。詳細は本日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

なお、当社は、「取締役会の決議により、毎年6月30日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,667	8.5	2,643	8.7	2,924	9.2	2,014	10.6	219.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成29年5月8日に発表しました業績予想は、本資料において修正しております。詳細は本日発表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	9,350,000 株	28年12月期	9,350,000 株
期末自己株式数	29年12月期2Q	172,227 株	28年12月期	183,927 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	9,172,018 株	28年12月期2Q	9,130,684 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復や円安基調を受け、輸出企業を中心に景況感が改善しました。アジアからのIT（情報技術）やインフラ関連の需要が高まったほか、欧米の先行き不透明感が和らぎ、景気回復の裾野が中小企業や非製造業にも広がり、個人消費の回復や都市部の再開発で国内需要も底堅く推移いたしました。

当業界におきましても、海外景気や個人消費の回復を背景にユーザ企業の情報化投資が活性化し、モバイル、クラウド、ビッグデータ、ソーシャルネットワーク、IoT（Internet of Things）等の最新技術を活用した商品開発やサービスの提供に期待が寄せられております。

当業界におきましても、ユーザー企業において業績の改善を背景に設備投資計画が堅調で、一部の業種で能力増加や維持更新のための投資の上積みが見られております。

このような環境のなかで、当社グループは、システムインテグレータとして、多様化するお客様のニーズにフレキシブルに対応するため、業種別ソリューション、アウトソーシング、ネットワークの3つの重点戦略を掲げ、積極的に営業展開を進めてまいりました。

具体的には、①ソフトウェア開発業務売上拡大のための商品力強化、②業種別ERPの促進、③システム運用業務売上拡大のための運用管理業務の商品化とその促進、④社員教育の拡充を重点施策として掲げ、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高65億83百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益11億90百万円（同4.5%増）、経常利益12億89百万円（同3.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億85百万円（同10.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①情報処理・ソフトウェア開発業務

情報処理・ソフトウェア開発業務としましては、ソフトウェア業務、システム運用業務、ファシリティサービス業務等であります。当第2四半期連結累計期間においては、システム運用業務が堅調に推移するとともにソフトウェア開発業務においても受注が堅調となり、売上高は57億80百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は10億79百万円（同6.9%増）となりました。

②機器販売業務

機器販売業務としましては、当社で開発したシステムに必要なサーバ、パソコン、プリンター、周辺機器等のハードウェアの販売業務であります。当第2四半期連結累計期間においては、ソフトウェア開発の受注拡大に伴い販売数量は増加したものの、比較的利幅の低い案件が多かったため、売上高は6億31百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は77百万円（同16.5%減）となりました。

③リース等その他の業務

リース等その他の業務としましては、各種事務用機器のリース、ビル・マンションの不動産賃貸の業務であります。当第2四半期連結累計期間においては、主要な取引先である建設業界の受注環境が前期に比べて改善したものの減価償却費等の費用がかさみ、売上高は1億71百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は33百万円（同6.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は228億59百万円となり、主として有価証券及び投資有価証券の増加により前連結会計年度末に比べて39百万円増加しました。総負債は32億16百万円となり、主として買掛金及び退職給付に係る負債の減少により前連結会計年度末に比べて2億27百万円減少しました。純資産は196億43百万円となり、主として利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて2億67百万円増加しました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが11億14百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが7億94百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが6億23百万円の減少となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して3億3百万円減少し、8億31百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、主として税金等調整前四半期純利益12億87百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間は5億82百万円の増加でした。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、主として投資有価証券の取得による支出15億19百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間は9億24百万円の減少でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、主として配当金の支払額6億41百万円によるものです。なお、前年同四半期連結累計期間は5億84百万円の減少でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきまして、それぞれ上方修正いたしました。詳しくは、本日開示の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,135,455	831,685
受取手形及び売掛金	1,809,948	1,527,162
有価証券	44,023	340,937
商品	10,450	10,470
仕掛品	784,414	843,579
繰延税金資産	124,658	121,160
その他	213,295	88,430
貸倒引当金	△1,049	△879
流動資産合計	4,121,197	3,762,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,208,843	2,132,363
機械装置及び運搬具(純額)	40,110	37,384
土地	4,385,990	4,385,990
その他(純額)	494,744	510,493
建設仮勘定	56,929	56,929
有形固定資産合計	7,186,618	7,123,161
無形固定資産		
のれん	—	8,999
その他	7,285	7,208
無形固定資産合計	7,285	16,208
投資その他の資産		
投資有価証券	11,465,509	11,905,451
その他	39,285	52,457
貸倒引当金	△8	△4
投資その他の資産合計	11,504,786	11,957,905
固定資産合計	18,698,690	19,097,275
資産合計	22,819,887	22,859,821

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	430,081	229,091
未払法人税等	470,200	413,804
賞与引当金	249,569	272,365
役員賞与引当金	9,360	—
その他	1,520,026	1,545,994
流動負債合計	2,679,237	2,461,254
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,253	24,573
退職給付に係る負債	17,329	2,418
繰延税金負債	716,025	721,077
その他	7,013	7,013
固定負債合計	764,621	755,082
負債合計	3,443,859	3,216,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,370,150	1,370,150
資本剰余金	1,372,606	1,379,358
利益剰余金	15,227,086	15,470,511
自己株式	△274,591	△257,447
株主資本合計	17,695,252	17,962,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,725,390	1,723,820
退職給付に係る調整累計額	△69,334	△63,569
その他の包括利益累計額合計	1,656,055	1,660,251
新株予約権	24,319	20,259
非支配株主持分	401	400
純資産合計	19,376,028	19,643,484
負債純資産合計	22,819,887	22,859,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,389,136	6,583,830
売上原価	4,322,567	4,386,363
売上総利益	2,066,568	2,197,467
販売費及び一般管理費	928,206	1,007,435
営業利益	1,138,361	1,190,031
営業外収益		
受取利息	12,475	22,500
受取配当金	128,236	150,144
有価証券売却益	762	53,649
貸倒引当金戻入額	140	170
雑収入	8,438	11,295
営業外収益合計	150,053	237,759
営業外費用		
支払利息	59	31
有価証券売却損	22,992	135,082
有価証券償還損	21,087	2,630
デリバティブ評価損	252	—
雑損失	904	875
営業外費用合計	45,297	138,620
経常利益	1,243,117	1,289,170
特別損失		
固定資産除却損	331	1,408
投資有価証券評価損	52,080	—
特別損失合計	52,411	1,408
税金等調整前四半期純利益	1,190,705	1,287,762
法人税、住民税及び事業税	367,938	395,987
法人税等調整額	22,457	6,716
法人税等合計	390,395	402,703
四半期純利益	800,310	885,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	800,302	885,049

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	800,310	885,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△756,681	△1,569
退職給付に係る調整額	3,420	5,765
その他の包括利益合計	△753,260	4,195
四半期包括利益	47,049	889,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,042	889,245
非支配株主に係る四半期包括利益	7	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,190,705	1,287,762
減価償却費	208,093	199,588
のれん償却額	—	1,000
受取利息及び受取配当金	△140,711	△172,644
支払利息	59	31
固定資産除却損	331	1,408
投資有価証券評価損益(△は益)	52,080	—
デリバティブ評価損益(△は益)	252	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△139	△174
売上債権の増減額(△は増加)	223,278	282,785
たな卸資産の増減額(△は増加)	53,272	△59,185
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△32,546	27,319
仕入債務の増減額(△は減少)	△161,856	△200,990
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△471,831	△41,845
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△7,635	△6,608
その他	51,934	74,684
小計	965,287	1,393,133
利息及び配当金の受取額	138,447	166,504
利息の支払額	△59	△31
法人税等の支払額	△521,328	△444,946
営業活動によるキャッシュ・フロー	582,346	1,114,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△227,200	△163,536
投資有価証券の取得による支出	△812,584	△1,519,876
投資有価証券の売却による収入	76,142	451,234
有価証券の償還による収入	38,882	447,369
事業譲受による支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	490	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924,269	△794,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△593,363	△641,625
自己株式の処分による収入	9,114	17,772
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584,258	△623,861
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△926,181	△303,770
現金及び現金同等物の期首残高	1,494,120	1,135,455
現金及び現金同等物の四半期末残高	567,939	831,685

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年1月1日 至平成28年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,633,241	592,764	163,129	6,389,136	—	6,389,136
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,374	—	1,020	3,395	(3,395)	—
計	5,635,616	592,764	164,150	6,392,531	(3,395)	6,389,136
セグメント利益	1,009,971	93,082	35,307	1,138,361	—	1,138,361

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年1月1日 至平成29年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	情報処理・ ソフトウェア開発業務	機器販売業 務	リース等そ の他の業務	計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額（注）
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,780,616	631,901	171,313	6,583,830	—	6,583,830
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	—	1,502	2,582	(2,582)	—
計	5,781,696	631,901	172,815	6,586,413	(2,582)	6,583,830
セグメント利益	1,079,215	77,758	33,057	1,190,031	—	1,190,031

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。